

面接試験について

その2

三、面接試験とは

どの様にして行われるのか？

一例をあげてみましょう！(いわゆる面接マニユアル本などより抜粋)

①まず控え室より五人(数グループ)ぐらいついで、面接をする教室の廊下に着席し、自分の順番を待つ。

②呼ばれたら一人(二グループ)ずつ面接室に入る。(当然「ノック」「会釈」必要です)

③受験生用の椅子の前まで進み、一礼してから、「受験番号と氏名」をはつきりと言う(グループ面接の場合は、これを一人ずつ順番に行う)。

④「どうぞ」と勧められから着席する。

⑤試験官の質問が始まる。(試験中は、キョロキョロせず、しっかりとした視線を保つように心がける。受け答えで、反射的に「舌を出す人」「髪をいじる人」など習慣的な動きがでることが多くあります。注

意をしましょう！)

⑥「はい、よろしい」と言われたら、起立し、礼

四、面接試験で何を見られるのか？

注意すべきことは？

面接官は、本人のありのままの姿を見たいのです。この学校でどんな意欲を持って学びたいのか、どんな中学校生活を送ってきたのか、受験生の生の声を聞きたいのです。ですから、面接と云って緊張しすぎては、本来の自分の姿を見せることは出来ないのです。また、リラクセスしすぎということもよくありませんのでよく考えてください。

①服装は中学生らしく清潔であること！

校章、女子のリボンも当然！生徒手帳も大丈夫ですね！しかし、中学生らしい服装というのとはどの様な服装を指すのでし

をして戸口までいき会釈をして、外にでる。(非常に多い行動ですが、外にでたとたん「オワッター！」「緊張したー！」など大声を出す人が多くいますが、十分に注意をしてみてください。)

ようか？今のみなさんにはなかなか理解し難いことかも知れませんが、中学校入学当初の服装が、面接等で求められる服装なのかも知れません。自分の今の服装に満足しているかもしれないですが、すべてが自由ということではありません。化粧の臭いの染みこんだ制服はどうなのだろうか、よく考えてください。

②きちんとした頭髮？

頭髮が逆立っていたり、汚れていたり、整髪剤をべったりと付けているのは、求められる身だしなみではありません。金髪・メッシュな・ツブロック等論外です。眉毛も見ら

今週の予定:11月22日(月)~26日(金)

SDG'sの発表の準備を進めましょう。

日	曜	行事等
22	月	普通時程 給食あり 1校時学活 2~6校時の授業
23	火	勤労感謝の日
24	水	普通時程 給食あり 1~5校時の授業
25	木	普通時程 給食あり 1~6校時の授業
26	金	普通時程 給食あり 1~6校時の授業 5・6校時総合 →受験書類等説明

※ 29日(月)は、卒業アルバムの学年集合写真の撮影があります。標準服、校章、リボン(女子のみ)を忘れずに。

れることが多いです。

③正しい言葉遣いができるか？

校内の言葉を聞くと、乱暴なもの、不明瞭なもの、間違っているものなど様々です。同じ言葉であっても使い方により受取方が決まってくるので気をつけましょう。また、お兄さんを「兄貴！：お兄ちゃん」と呼ばず「兄」と呼んだりすることも忘れないでください。質問等で、よく聞き取れない場合には「もう一度お願いします」というてもかまいません。よく

分らないため、適当に答えるよりも良い印象を与えることでしよう。また、わからないものは「わかりません！」とはつきり言っても良いでしよう。

④見せかけの動作はやめましょう！

面接の時だけ、よそ行きの顔をして、表現をごまかしたり、見せかけの動作をしても長い間生徒を観察している面接官は見抜いてしまいます。日頃から毎日の生活の反省をして、いつも自分を向上させる気持ちを身につけていましょう。